重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	安心して地域で子どもをのびのびと育てられる	
施策名	子どもを安心して育てられる安全な地域環境をつくる	No.23

年度	平成28年度
責任部長	企画部長
主担当課長	地域ふれあい課長
関係課	維持課・治水課・学校教育課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
			H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
地域で子どもたちの安全が見守られていると思う人の割合（%）		↗	52.7	54.0	59.5	59.5	60.4	62.4	60.4
			62.4	63.6	65.2	66.8	70.1		67.5
子どもの犯罪被害者数（人）		↘	455	405	373	435	294	250	383
			250	244	164	181	164		323
子どもの交通事故被害者数（人）		↘	320	344	298	291	304	270	254
			270	259	291	233	200		200
子ども110番の家や防犯パトロールなどの子どもの防犯活動に協力している人の数	①子ども110番の家の登録数(軒)	↗	6,488	8,923	9,990	7,188	7,248	6,844	7,552
			6,844	7,199	6,857	7,042	6,994		9,990
	②子どもの見守り活動をしている団体数(団体)		—	—	—	—	—	—	—
			104	107	107	107	108		114

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

近年、通学団の列に車が突っ込んだり、子どもが襲われたり連れ去られるといった予測できない事故が発生しており、子どもの見守りが必要とされてきている。また、ハード面でも道路や水路において歩道の整備やフェンスを設置等で子どもの安全を目指している。ソフト面では児童生徒及び教職員・保護者に対してもセルフディフェンス講座等の実施が行われている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	地域で子どもたちの安全が見守られていると思う人の割合は順調に推移し目標値に達した。子ども110番の家の登録数、子どもの見守り活動をしている団体数はほぼ横ばいだが、子どもの犯罪被害者数、交通事故被害者数も減少し目標値を達成しているため改善傾向にあるといえる。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊